Macintosh ドライバガイド

プリンタに付属しているソフトウェアの説明書です。必要なページを開いて印刷してお読みください。

対応ソフトウェア
・プリンタドライバ Macintosh BJ Printer Driver
・スキャナドライバ IS Scan
・スキャナ用アプリケーションソフト Copy Utility

V 01

はじめに

■各ソフトウェアのインストールについて

本書を読む前に、各ソフトウェアのインストールを正しい手順で行ってください。
インストール方法は次の取扱説明書に書かれています。

プリンタドライバ（Macintosh BJ Printer Driver）

コンピュータ標準のUSBポートにUSBケーブルでプリンタを接続している場合	→	かんたんスタートガイド（青色）の裏面

スキャナドライバ（IS Scan）とCopy Utility

コンピュータ標準のUSBポートにUSBケーブルでプリンタを接続している場合	→	基本操作ガイド「スキャナを使う」の章

■動作環境

ハードウェア	USBインターフェースを持つMacintosh
基本ソフトウェア	Mac OS 8.1以上（日本語版）
インタフェース	USB

iMacでMac OS 8.1を使用している方へ

Mac OS 8.1をアップデートする必要があります。
まだ、アップデートしていない場合は、プリンタドライバをインストールする前に、アップルコンピュータ株式会社が提供している「iMacアップデート 1.0」を入手して、必ずアップデートを完了してください。入手方法とアップデータのしかたは、アップルコンピュータ株式会社か、コンピュータ販売店にお問い合わせください。

Mac OS 9を使用している方へ

「マルチユーザ」機能をオンにしてお使いの場合は、次の点にご注意ください。
マルチユーザ環境でプリンタドライバおよびIS Scanアプリケーションソフトをインストールできるのは、[所有者]または[通常利用者]です。[制限付き利用者]または[パネル利用者]は、スキャナドライバのうち、TWAINドライバをインストールすることはできますが、IS Scanアプリケーションソフトおよびプリンタドライバをインストールすることはできません。
[制限付き利用者]または[パネル利用者]がTWAINドライバをインストールする方法、IS Scanを使用する方法については、スキャナドライバに付属している[お読みください]ファイルを参照してください。
[お読みください]ファイルを開くには、「プリンタドライバ／リファレンスガイド(CD-ROM)」をコンピュータのCD-ROMドライブにセットし、CD-ROMのフォルダ内にある[スキャナドライバ]フォルダをダブルクリックして、[お読みください]アイコンをダブルクリックしてください。

システムによっては出てくるメッセージや画面が一部異なることがあります。

目次

応用テクニック

メンテナンス

付録

プリンタドライバ編

プリンタドライバはBJ F620で印刷するときに必要なソフトウェアです。
プリンタドライバが正しくインストールされると、コンピュータは接続したプリンタを認識できるようになります。
印刷時には、原稿のデータをプリンタに理解できる形式に変換し、プリンタに送り出す働きをします。
以上がプリンタドライバの基本的な役割ですが、このほかにもいろいろなことができます。「プリンタドライバ編」では、それらの機能について説明します。

プリンタドライバの機能

プリンタドライバの機能を本書では３つに分類しています。各ページ右上に「基礎知識」、「応用テクニック」、「メンテナンス機能」の分類名を記載していますので、目的に合わせて必要な説明を参照してください。

印刷設定を行う…………………………→「基礎知識」 P.8〜P.15

プリンタドライバが正しくインストールされると、印刷はいつでも実行できます。しかし、印刷された結果は、原稿の種類、使用する用紙やBJカートリッジによって違いがあります。これらの条件に合わせて最適な印刷結果を得られるようにする操作が印刷設定です。
適正な印刷設定を行えば、印刷の品質や発色は向上します。印刷を実行する前にプリンタドライバの設定画面を開いて、基本的な印刷設定を行うようにしてください。最低限必要な情報は、「基礎知識」にまとめています。

特殊な機能を実行する…………………………→「応用テクニック」 P.16〜P.37

プリンタドライバの設定により、拡大/縮小印刷、割り付け印刷などの特殊な印刷を実行できます。また、写真などの画像データの色合いを補正して印刷することもできます。
印刷結果に満足がいかない場合は、色や品質に関する詳細な設定を行ってください。
また、バックグラウンド印刷時はBJプリントモニタを使用して、印刷の進行状況やプリンタの状態を確認したり、プリンタをネットワーク上で使用することもできます。
これらの応用的な機能については「応用テクニック」にまとめています。

プリンタのメンテナンスを行う…………→「メンテナンス機能」 P.38〜P.46

BJカートリッジのメンテナンス機能（クリーニング、ヘッド位置調整）やテストプリント、給紙ローラのクリーニング、電源に関する操作や設定を行う場合にも、プリンタドライバの設定画面を開いてください。アイコンをクリックすると、それぞれの機能をプリンタに実行させることができます。
これらの機能については「メンテナンス機能」にまとめています。

プリンタドライバを選択する

用紙や印刷の設定を行う前に、使用している環境に合ったプリンタドライバを［セレクタ］で選択しておく必要があります。
この操作は一度行えば、同一のプリンタを使っている限り、選択し直す必要はありません。

■セレクタでプリンタドライバを選択する

コンピュータにプリンタを直接接続している場合は、次の手順でプリンタドライバを選択します。

1 アップルメニューから［セレクタ］を選択します。
［セレクタ］ダイアログが開きます。

2 ［BJ F620］アイコンをクリックします。

3 バックグラウンド印刷を行う場合は、オンを選択します。

4 ［クローズボックス］をクリックして、セレクタを閉じます。
これ以降はBJ F620を使って印刷ができるようになります。

●参考

・バックグラウンド印刷については次を参照してください。
バックグラウンド印刷について　P.32
・ネットワークでプリンタを使用する場合は次を参照してください。
ネットワークでプリンタを使用する　P.34

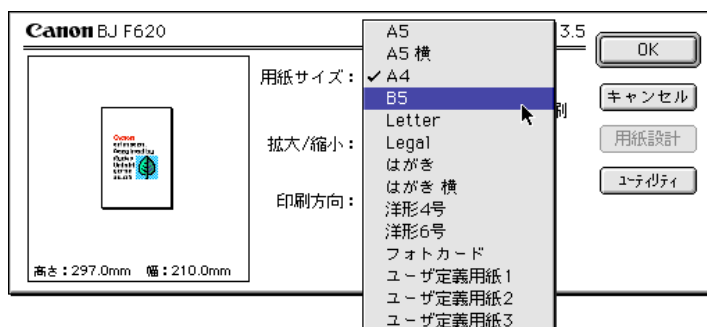
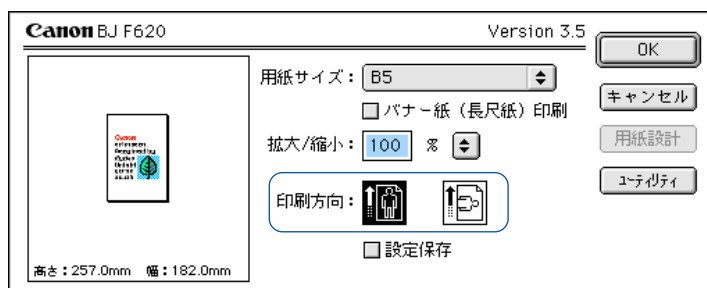
用紙サイズに関する設定を行う（用紙設定ダイアログ）

印刷に使用する用紙の大きさは、アプリケーションソフトで原稿作成時に選択するのが一般的です。
用紙設定ダイアログを開いて、プリンタにセットするものと同じになるように選択します。

■用紙サイズと印刷方向を変更する

用紙設定ダイアログを開いて変更します。操作のしかたはアプリケーションソフトによって違いますが、ここでは一般的な手順を説明します。

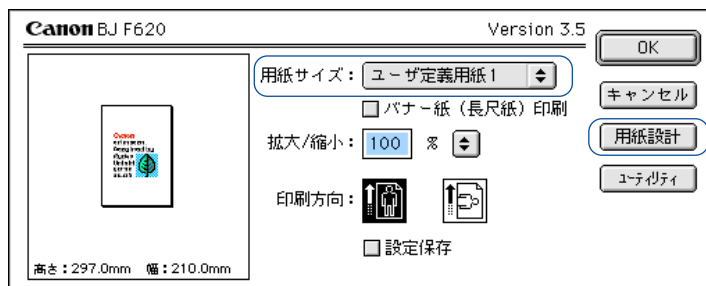
1 アプリケーションソフトで用紙設定を実行するメニューを選択します。
一般的には［ファイル］メニューから［用紙設定...］をクリックして、用紙設定ダイアログを表示します。

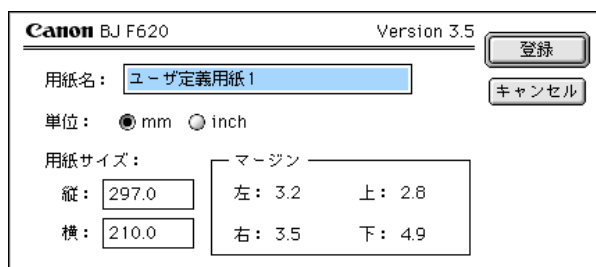
2 ［用紙サイズ］を選択します。
一覧にない非定型の用紙サイズを使用する場合は、次項を参照してください。

3 ［印刷方向］を選択します。

4 設定が終了したら［OK］ボタンをクリックします。
用紙設定ダイアログが閉じます。

■非定型の用紙サイズを使用するとき

A4、A5等の定型サイズではない用紙を使用する場合は、［ユーザ定義サイズ］を選択します。

1 アプリケーションソフトで用紙設定を実行するメニューを選択します。
一般的には［ファイル］メニューから［用紙設定...］をクリックして、用紙設定ダイアログを表示します。

2 ［用紙サイズ］で［ユーザ定義用紙（1～3）］のどれかを選択し、［用紙設計］ボタンをクリックします。

用紙設計ダイアログが表示されます。

3 ［用紙名］と［単位］、［縦］、［横］の長さの数値を設定、入力します

4 ［登録］ボタンをクリックします。
用紙設計ダイアログが閉じて、指定した用紙名で用紙サイズが設定されます。

●参考

・ユーザ定義用紙は1～3まで登録できます。
・用紙設定ダイアログボックスで行った設定を、常に新規作成時のデフォルトの設定にしたい場合は［設定保存］のチェックボックスをオン（☑）にします。

基本的な印刷設定をする（プリントダイアログ）

印刷を開始する前に、基本的な印刷設定を行います。プリンタの状態（BJカートリッジ、用紙の種類、給紙方法）に設定を合わせ、原稿に適した印刷設定のアイコンを選ぶことで、きれいな印刷ができるようになります。

■印刷設定を行って印刷を開始する

［部数］、［ページ］、［BJカートリッジ］、［用紙の種類］、［給紙方法］、［印刷設定］を順に選択して、印刷を開始するまでの手順を説明します。

1 アプリケーションソフトで印刷を実行するメニューを選択します。
一般的には［ファイル］メニューから［プリント...］を選択して、プリントダイアログを表示します。

2 印刷したい部数を入力し、印刷するページを選択します。

●参考 ・特定のページを印刷したい場合は「から」の前後に、印刷開始ページと印刷終了ページを入力します。

3 ［BJカートリッジ］、［用紙の種類］を選択します。
をクリックすると一覧が表示されますので、プリンタの状態に合わせて選択します。

●参考 ・カラーで作成した原稿をモノクロで印刷したい場合は、［グレースケール印刷］のチェックボックスをオン（☑）にしてください。

4 ［印刷設定］のアイコンを選択します。
「各アイコンの説明」を参照して、印刷する原稿のタイプに最も近いものを選択します。
［現在の設定］には選択されているアイコンの名称と、［印刷品位］、［ディザリング］、［色補正］の情報が表示されます。

各アイコンの説明

	文　書	文章中心の原稿や、標準的な品質で印刷するときにお勧めの設定です。
	グラフィックス	グラフや色の境界がはっきりしたコンピュータグラフィックスなどを印刷するときにお勧めの設定です。
	写　真	写真を最高品質で印刷するときの設定です。グラデーションを多用したグラフィックス原稿にも適しています。
	マニュアル	印刷品位、ディザリング、色補正などを好みの設定にしたいときに選択します。マニュアルで印刷設定を行う P.20

5 印刷を開始する場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

• BJカートリッジや用紙のセットのしかたは、リファレンスガイドを参照してください。

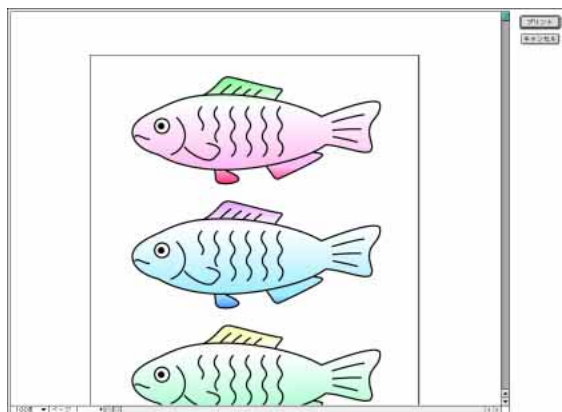
■原稿データのプレビューを表示する

［オプション］ボタンをクリックして出力先を［プレビュー］に変更すると、原稿データのプレビューを見ることができます。

1 プリントダイアログを開き、［オプション］ボタンをクリックします。
オプション設定ダイアログが表示されます。

2 出力先で［プレビュー］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

3 プリントダイアログで［プレビュー］ボタンをクリックします。

プレビュー画面が表示されます。

●参考

・［印刷設定］でマニュアル（　）アイコンを選択してプレビュー画面を表示した場合は、［カラーバランス］と［濃度］の設定ができます。

マニュアルで印刷設定を行う　P.20

4 印刷を開始する場合は［プリント］ボタンをクリックします。印刷しないでプレビュー画面を閉じる場合は、［キャンセル］ボタンをクリックします。

■原稿データをPICTファイルで保存する

［オプション］ボタンをクリックして出力先を［PICTファイル］に変更すると、原稿データをPICT形式のファイルで保存できます。

1 プリントダイアログを開き、［オプション］ボタンをクリックします。
オプション設定ダイアログが表示されます。

2 出力先で［PICTファイル］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

3 プリントダイアログで［ファイル］ボタンをクリックします。

4 ［保存名］を入力し、［保存］ボタンをクリックします。

ファイルは新規に保存名と同名のフォルダを作り、その中に保存されます。

ヘルプの見かた

プリンタドライバには、たくさんの機能があります。ヘルプをバルーン表示する設定にしておくと、見たい項目にポインタを移動するだけで、簡単な説明を読むことができます。

■ヘルプのバルーン表示を行う

ヘルプのバルーン表示を行う場合は、[ヘルプ] メニューの [バルーン表示] を選択します。
この状態で説明を見たい項目にポインタを合わせます。

1. [ヘルプ] メニューから [バルーン表示] を選択します。
2. プリンタドライバの画面（[印刷設定] ダイアログ、[プリント] ダイアログ等）を表示します。
3. 説明を見たい項目にポインタを移動します。
その機能の説明が表示されます。

●参考 ・ヘルプのバルーン表示をやめたいときは、再度 [ヘルプ] メニューから [バルーンを隠す] を選択します。

拡大/縮小印刷をする

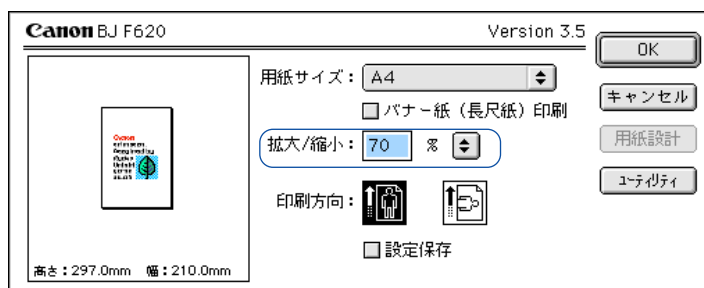
アプリケーションソフトで作成した原稿を、拡大または縮小して印刷します。

■拡大縮小率を指定する

［用紙設定］ダイアログで、拡大縮小率（%）で設定します。

1 ［用紙設定］ダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［用紙設定...］を選択すると開きます。

2 必要に応じて［用紙サイズ］、［印刷方向］を選択します。

3 ［拡大/縮小］を設定します。入力欄を選択して数値を入力するか、をクリックして数値を調整します。

4 設定が終了したら［OK］ボタンをクリックします。
用紙設定ダイアログが閉じます。

5 印刷を実行する場合は、プリントダイアログで［プリント］ボタンをクリックします。
プリントダイアログを開くには、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択するのが一般的です。

・通常の印刷に戻したい場合は、100%に設定してください。

バナー紙（長尺紙）印刷をする

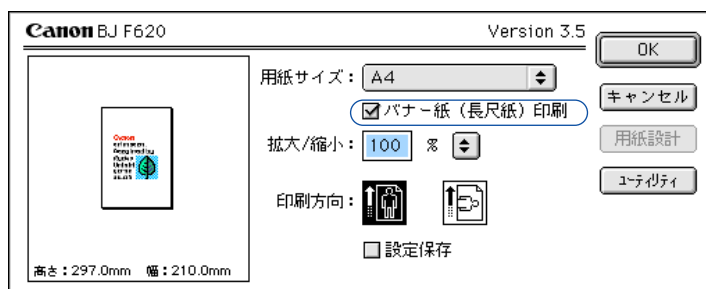
バナー紙をプリンタにセットする方法はリファレンスガイドをご覧ください。
ここでは、バナー紙に印刷するときの設定方法のみ説明します。

■バナー紙に印刷するための設定を行う

［用紙設定］ダイアログで、［バナー紙（長尺紙）印刷］をオンにします。

1 ［用紙設定］ダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［用紙設定...］を選択すると開きます。

2 ［用紙サイズ］で［A4］を選択します。

3 ［バナー紙（長尺紙）印刷］のチェックボックスをクリックして、オン（☑）にします。

4 確認のメッセージが表示されたら［OK］ボタンをクリックします。

5 ［OK］ボタンをクリックします。
用紙設定ダイアログが閉じます。

6 プリントダイアログを開きます。
プリントダイアログを開くには、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択するのが一般的です。

7 ［用紙の種類］で［普通紙］を選択します。

8 印刷する場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

●参考

・バナー紙印刷時は、［部数］は１部に設定してください。複数部印刷の設定をすると正しく印刷できません。
・通常の印刷に戻したい場合は、［バナー紙（長尺紙）印刷］をオフ（□）にしてください。

割り付け印刷をする

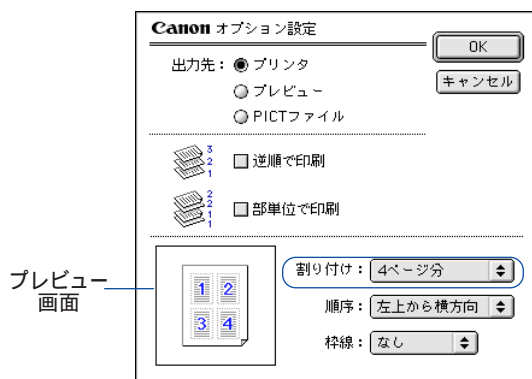
2ページ分または4ページ分の原稿を、1枚の用紙に納まるようレイアウトして印刷します。
見開きで全体のイメージを見たいときや、袋とじに仕上げるときに便利です。

■割り付け印刷の設定を行う

プリントダイアログから［オプション設定］ダイアログを開いて設定します。

1 プリントダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択すると開きます。

2 ［オプション］ボタンをクリックします。
［オプション設定］ダイアログが表示されます。

3 ［割り付け］で1枚の用紙に何ページ分印刷するかを選択します。
プレビュー画面で印刷イメージを確認できます。

4 必要に応じて、次の設定を行います。
［順序］…用紙に対してどのような順序で原稿を割り付けるか選択します。
［枠線］…［細線］か［太線］を選択すると、各ページのまわりに指定した太さの枠線を印刷します。

5 設定が終了したら［OK］ボタンをクリックします。
［オプション設定］ダイアログが閉じます。

6 印刷を実行する場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

●参考 ・通常の印刷に戻したい場合は、［割り付け］で［1ページ分］を選択してください。

印刷順序を変更する

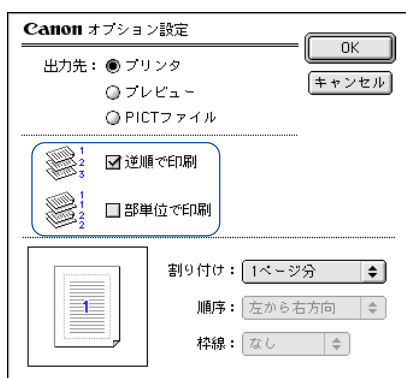
基本の設定では印刷順序は1ページ目から順番に印刷するようになっています。
同じ印刷データを複数部印刷するときは、印刷順序を部単位で逆順に設定しておくと、印刷後に並べ換える手間が省けます。

■印刷順序を設定する

印刷の順序は、[部単位で印刷]と[逆順で印刷]の設定のしかたによって変わります。
プリントダイアログから[オプション設定]ダイアログを開いて設定します。

1 プリントダイアログを開きます。
一般的には、[ファイル]メニューから[プリント...]を選択すると開きます。

2 [オプション]ボタンをクリックします。
[オプション設定]ダイアログが表示されます。

3 必要に応じて、[逆順で印刷]と[部単位で印刷]の設定を行います。

[逆順で印刷]……　複数のページを印刷するときの順序を設定します。
オン（☑）にすると、最終のページから印刷します。オフ（□）にすると、先頭のページから印刷します。

[部単位で印刷]…　複数ページを複数部続けて印刷するときの順序を設定します。
オン（☑）にすると、1部ずつまとまるように印刷します。オフ（□）にすると、同一ページごとにまとまるように印刷します。

4 設定が終了したら[OK]ボタンをクリックします。
[オプション設定]ダイアログが閉じます。

5 印刷を実行する場合は、[プリント]ボタンをクリックします。

好みの印刷設定を行う

［印刷設定］でマニュアルを選択すると、印刷の品質や色に関する設定を好みに応じて調整できるようになります。一度設定しておけば、次回からは アイコンをクリックするだけでその設定内容になります。

■マニュアルで印刷設定を行う

プリントダイアログの［印刷設定］でマニュアル（ ）を選択すると、クオリティパネルと色設定パネルにある機能を選択できます。

1 プリントダイアログを開きます。

一般的には、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択すると開きます。

2 ［印刷設定］でマニュアル（ ）を選択します。

3 ［詳細設定］ボタンをクリックします。

［詳細設定］ダイアログが表示されます。

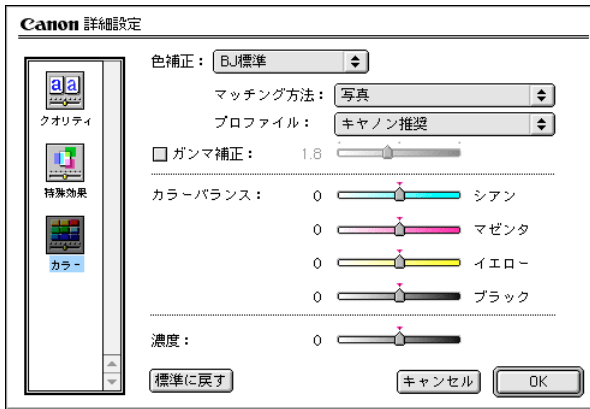
4 必要に応じてクオリティパネルの各機能を設定します。

●参考

・フォトデータ補正のチェックボックスをオン（ ）にすると、ページ内を一括で補正するか、しないかを設定できます。

機能の詳細は、次の説明を参照してください。

［印刷品位］、［ディザリング］ 印刷の品質を変更する　P.22
［フォトデータ補正］ 画像の補正を行う　P.24

5 色の調整を行う場合は、［カラー］アイコンをクリックして、カラーパネルを表示します。

各機能の詳細は、次の説明を参照してください。色の調整を行う　P.27

6 設定が終了したら［OK］ボタンをクリックしてプリントダイアログに戻ります。

7 印刷を行う場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

・次回以降、同じ印刷設定使用する場合は、プリントダイアログの［印刷設定］でマニュアル（ ）アイコンを選択してください。

印刷の品質を変更する

印刷結果の品質に満足できなかった場合は、印刷品位やディザリングの方式を変えて微調整することができます。ただし、印刷するデータ自体に問題がある場合は印刷品位を上げても、効果がわからない場合があります。

■印刷の品質を調整する

印刷の品質は、［印刷品位］と［ディザリング］の設定によって変わります。［印刷設定］で［マニュアル］アイコンを選択すると設定できます。

1 ［プリント］ダイアログを開きます。

一般的には、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択すると開きます。

2 ［印刷設定］でマニュアル（ ）を選択します。

3 ［詳細設定］ボタンをクリックします。

［詳細設定］ダイアログの［クオリティ］パネルが表示されます。

4 ［印刷品位］を設定します。

スライドバーを右（高品位）にするほど、印刷の品質は上がり、印刷時間がかかります。スライドバーの位置によって、印字モードの表示が変わります。

5 ［ディザリング］のいずれかのアイコンを選択します。
ディザリングは、吹き付けたインクの点（ドット）の配置のしかたを決定するもので、ハーフトーン（中間調）の表現方法が変わります。

［パターン］
異なる色のドットを一定の法則に従って並べます。
色の境界をくっきり見せたいグラフィックスやグラフに適しています。
［誤差拡散］
異なる色のドットをランダムに配置します。微妙なグラデーションが作り出せるため、写真などの自然画像に適しています。

6 ［OK］ボタンをクリックして、プリントダイアログに戻ります。
7 印刷を行う場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

- ［ディザリング］の設定によっては、選択できない［印刷品位］があります。最高の品質で印刷する場合は、［誤差拡散］を選択してください。
- BJカートリッジの種類や、選択している用紙の種類などによって選択できない設定があります。その場合は、選択可能な範囲で調整することをお勧めします。

画像の補正を行う

フォトデータ補正を行うと、スキャナやデジタルカメラで取り込んだ画像データの色調を補正して印刷します。
色かぶり、露出オーバー、露出アンダーが原因で色合いが悪くなっている画像データに効果的です。

■フォトデータ補正を行う

［詳細設定］ダイアログで、フォトデータ補正をオンにします。

1 ［プリント］ダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択すると開きます。

2 ［印刷設定］でマニュアル（ ）を選択します。

3 ［詳細設定］ボタンをクリックします。
［詳細設定］ダイアログの［クオリティ］パネルが表示されます。

4 ［クオリティ］パネルで［フォトデータ補正］をオン（☑）にします。
［ページ内一括］… チェックボックスをオン（☑）にするとページ内を一括で補正できます。

5 ［OK］ボタンをクリックして、プリントダイアログに戻ります。

6 印刷を行う場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

画像に特殊効果を加える

画像データを加工して、オリジナルの輪郭や色に特殊な効果を与えます。画像データをイラストのような風合いに加工したり、単一色で表現したりできます。

■イラストのような風合いに加工する

［イラストタッチ］を使うと、写真などの画像データがイラストのような表現で印刷できます。

1. ［プリント］ダイアログを開きます。
   一般的には、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択すると開きます。
2. ［印刷設定］でマニュアル（ ）を選択します。
3. ［詳細設定］ボタンをクリックします。
4. ［特殊効果］アイコンをクリックして、［特殊効果］パネルを表示します。
5. ［特殊効果］パネルで［イラストタッチ］をオン（ ）にします。
   プレビュー画面がイラストのように変わります。

6. 必要に応じて［明るさ］のスライドバーをドラッグして、画像の明るさを調整します。
7. ［OK］ボタンをクリックして、プリントダイアログに戻ります。
8. 印刷を実行する場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

●参考

・［単色効果］と組み合わせて使用することができます。

■単一の色で表現する

［単色効果］を使うと、写真などの画像データを単一の色で印刷できます。

1 ［プリント］ダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択すると開きます。

2 ［印刷設定］でマニュアル（ ）を選択します。

3 ［詳細設定］ボタンをクリックします。
［詳細設定］ダイアログの［クオリティ］パネルが表示されます。

4 ［特殊効果］アイコンをクリックして、［特殊効果］パネルを表示します。

5 ［特殊効果］パネルで［単色効果］をオン（☑）にします。
プレビュー画面が単色に変わります。

6 ［セピア］、［ブルー］、［ピンク］、［グリーン］、［指定色］から、好みの色を選んでクリックします。選択した色は、プレビュー画面で確認できます。［指定色］を選んだ場合は、必要に応じて［色］スライドバーをドラッグして、好みの色を選んでください。［指定色］の右側に選択した色が表示されます。

7 ［OK］ボタンをクリックして、プリントダイアログに戻ります。

8 印刷を実行する場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

●参考

・［イラストタッチ］と組み合わせて使用することができます。
・［グレースケール印刷］がオン（☑）のときは選択できません。

色の調整を行う

印刷した色合いが思い通りにならなかった場合は、プリンタドライバで色補正をしたり、濃度を調整したりすることができます。画像編集のアプリケーションソフトなどのように印刷するデータ自体の色を補正するものではありません。あくまで微調整を行うものです。

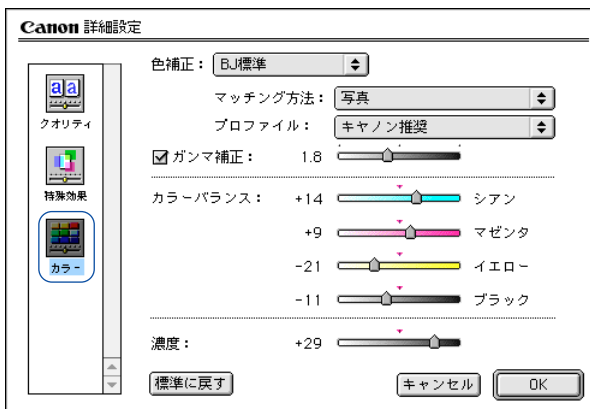
■色の補正とバランス、濃度を設定する

［印刷品位］で［マニュアル］アイコンを選択し、［カラー］アイコンを選択すると設定できます。

1 プリントダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択すると開きます。

2 ［印刷設定］でマニュアル（ ）を選択します。

3 ［詳細設定］ボタンをクリックします。
［詳細設定］ダイアログの［クオリティ］パネルが表示されます。

4 ［カラー］アイコンをクリックして、カラーパネルを表示します。

5 必要に応じて各項目を設定します。

［色補正］

［BJ標準］…BJプリンタで印刷するのに最適な色補正を行います。通常はこれを選択してください。

［ColorSync］…ColorSyncによる色補正を行うときに選択します。

［なし］…色補正をしないときに選択します。

［マッチング方法］

色の表現方法を選択します。

［写真］…中間色を重視するときに選択します。

［グラフィックス］…原色を鮮やかにす表現るときに選択します。

［スポットカラー］…基本色を多く使った原稿を印刷するときに選択します。

[プロファイル]

使用する色特性（プロファイル）を選択します。通常は［キヤノン推奨］を使用してください。［キヤノン推奨］はBJカートリッジや用紙の種類、印刷品位、ディザリングなどの設定に合った色特性を提供します。

[ガンマ補正]

ガンマ補正を行うと、完全な白と黒の間にある中間色のコントラストを調整できます。チェックボックスをオン（☑）にして、スライドバーを左右に移動させて調整します。
右にいくほど全体を暗く調整し、明るい部分のコントラストを強く、暗い部分のコントラストは弱く表現します。
ガンマ補正を行わない場合は、チェックボックスをオフ（☐）にしてください。

[カラーバランス]

シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの各色ごとに色の強弱を設定します。
各色のスライドバーを左右にドラッグして調整します。たとえば、青味が強いと感じる場合は、シアンのスライドバーをマイナス方向（左）に、弱いと感じる場合はプラス方向（右）にドラッグします。調整後は4色のインクのバランスが変わりますので、全体の色相も変わります。あくまで微調整に留めてください。

[濃度]

スライドバーを左右にドラッグして、濃淡を調整します。右にいくほど濃く、左にいくほど薄くなります。

6. 設定が終了したら［OK］ボタンをクリックして、プリントダイアログに戻ります。
7. 印刷を行う場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

好みの設定を登録する

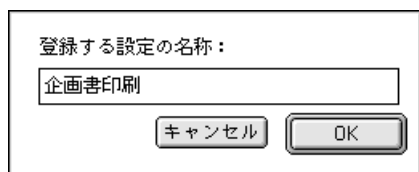
プリントダイアログの設定内容（BJカートリッジ、用紙の種類、グレースケール印刷、印刷設定）に名前をつけて登録しておくことができます。よく使用する設定はデフォルトの設定にしておくことが可能です。ここでは、登録や削除のしかた、呼び出しかたについて説明します。

■印刷設定を登録する

プリントダイアログで設定した内容に名称をつけて登録しておくことができます。

1 プリントダイアログで設定を行い、［設定登録］ボタンをクリックします。
設定登録ダイアログが開きます。

2 ［登録］ボタンをクリックします。

3 名称を入力します。

設定登録ダイアログに戻ります。

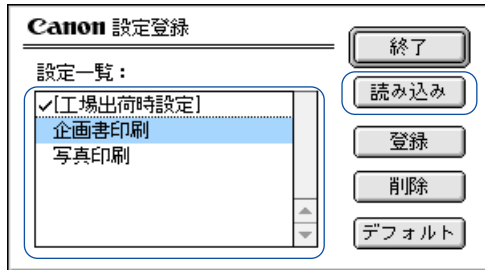
4 ［終了］ボタンをクリックします。
プリントダイアログに戻ります。

・すでに登録されている印刷設定と同じ名称で登録（上書き）することはできません。別の名称で登録するか、同じ名称の印刷設定を削除してから登録してください。

■登録した印刷設定を読み込む

登録した印刷設定を読み込んで、プリントダイアログの設定にします。

1 プリントダイアログを開き、［設定登録］ボタンをクリックします。
設定登録ダイアログが開きます。

2 読み込みたい印刷設定の名称をクリックし、［読み込み］ボタンをクリックします。

3 ［終了］ボタンをクリックします。
プリントダイアログに戻ります。

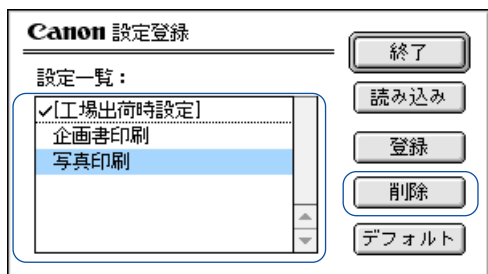
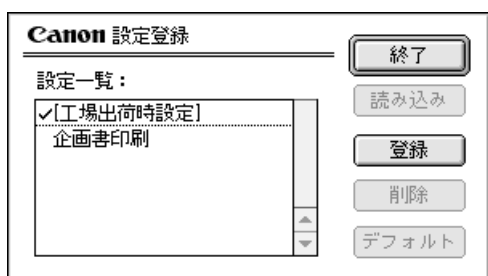
●参考

・登録した印刷設定をデフォルトの印刷設定（プリントダイアログが開いたときに、常に選択されている状態）にしたい場合は、［設定登録］ダイアログで登録した名称を選択し、［デフォルト］ボタンをクリックします。確認メッセージが表示されたら［OK］をクリックします。名称にチェックマークが付いたら、その印刷設定がデフォルトになったことを示します。

■不要になった印刷設定を削除する

登録した印刷設定が不要になった場合、また同じ名称で別の設定内容を登録したい場合は、次の手順で削除します。

1 プリントダイアログを開き、[設定登録]ボタンをクリックします。
[設定登録]ダイアログが開きます。

2 削除したい印刷設定の名称をクリックし、[削除]ボタンをクリックします。

3 確認のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。
選択した印刷設定の名称が削除されます。

4 [終了]ボタンをクリックします。
プリントダイアログに戻ります。

●参考

- [工場出荷時設定]は削除できません。
- 一度削除したら、元に戻すことはできません。再度、印刷設定をして登録してください。

バックグラウンド印刷について

［セレクタ］でバックグラウンド印刷を行う設定になっていると、BJプリントモニタを開いて、印刷の進行状況を確認したり、印刷を中止できます。
また、印刷待ちになっている書類の印刷順序を変えることもできます。

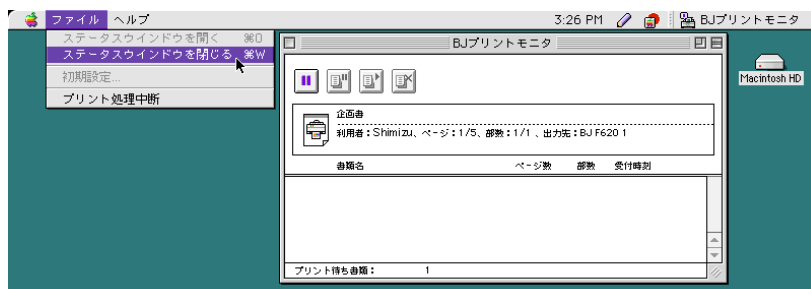
■バックグラウンド印刷とは

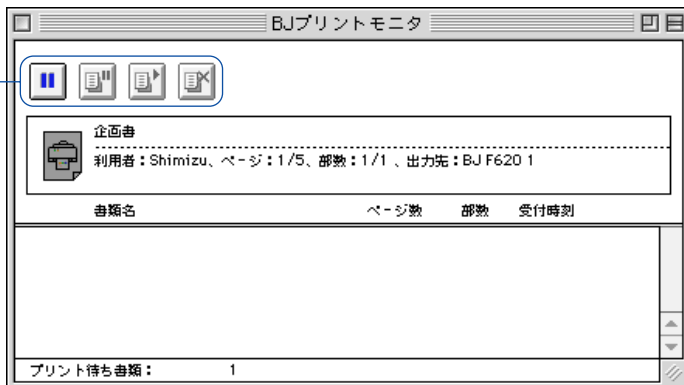
印刷実行中に別の作業を並行して行えるような印刷処理方法をバックグラウンド印刷といいます。
バックグラウンド印刷を行うには、アップルメニューから［セレクタ］を選択して、プリンタドライバを選択したあと、［バックグラウンドプリント］をオンにします（プリンタドライバを選択する P.8）。
バックグラウンド印刷時は、BJプリントモニタを起動し、進行状況の確認、印刷の中止などを行うことができます。

■BJプリントモニタを表示する

印刷を実行すると自動的に起動します。アプリケーションメニューから［BJプリンタモニタ］を選択するとウィンドウが表示され、印刷中、印刷待ちの文書の進行状況を確認することができます。

■BJプリントモニタのウィンドウを閉じる

［ファイル］メニューから［ステータスウィンドウを閉じる］を選択するとBJプリントモニタのウィンドウは閉じます。また、ウィンドウ左上部のクローズボックスをクリックしても、ウィンドウは閉じます。

■BJプリントモニタの機能

BJプリントモニタには、現在印刷中の書類と、印刷待ちの書類の情報が一覧で表示されます。
印刷待ちの書類情報は書類名、ページ数、部数、印刷を受付けた時刻です。最下欄には印刷待ち書類の総数が表示されます。

BJプリントモニタでは次のような作業を行うことができます。

- **印刷待ちの書類の順番を変える**

  順番を変えたい書類名にマウスポインタを合わせ、移動したい位置までマウスのボタンを押したままドラッグします。移動したい位置でボタンを離すと移動します。
  印刷中の文書の処理を中断して、印刷待ちの文書と入れ替えることもできます。

- **印刷を中止する**

  印刷を中止したい書類名をクリックして、アイコンをクリックします。選択した書類が一覧から削除されます。

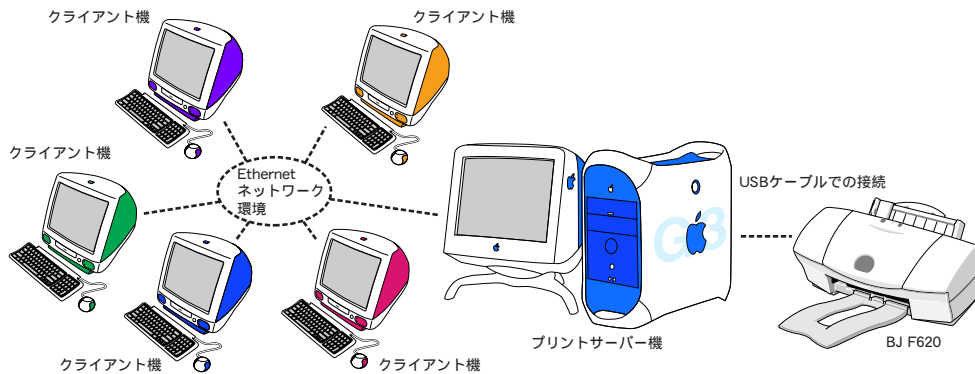
- **印刷を一時停止/再開する**

  印刷を一時停止したい書類名をクリックして、アイコンをクリックします。印刷を再開するときは、アイコンをクリックします。

ネットワーク上でプリンタを使用する

BJ F620はEthernetネットワーク環境で使用することができます。ネットワークに接続されているすべてのコンピュータでプリンタを使用するためには、各コンピュータでプリンタドライバを選択しておく必要があります。

■接続環境とインストールについて

- Ethernetによるネットワーク環境で使用できます。
- プリンタを使用するすべてのコンピュータにプリンタドライバをインストールしてください（『かんたんスタートガイド』参照）。
- プリンタはプリントサーバー機として使用するコンピュータにUSBインタフェースケーブルで接続してください。プリントサーバー機とクライアント機では、選択するプリンタドライバや印刷状況を確認するツールが異なります。次の接続例を参考にしてください。

プリントサーバー機

USBインタフェースケーブルで直接プリンタを接続するコンピュータのことです。
プリントサーバー機では［BJ F620］というプリンタドライバを選択します。
プリントサーバー機からは、直接BJプリントモニタで、プリンタの状況を確認できます。

クライアント機

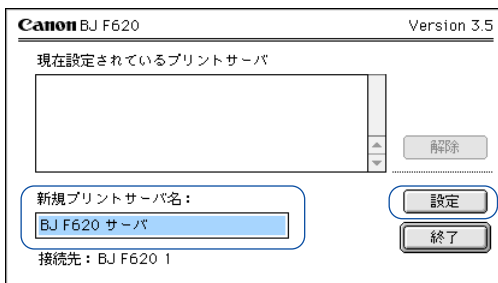
Ethernetでプリントサーバー機と接続されている各コンピュータのことです。
クライアント機からは［BJ F620（サーバ）］というプリンタドライバを選択します。
印刷を実行すると、データはプリントサーバー機を経由してプリンタに送られます。クライアント機からは、BJプリントモニタを起動できませんが、BJステータスモニタを起動してプリントサーバー機の印刷状況を確認することができます。

■プリンタドライバを選択する

ネットワーク上でプリンタを使用する場合は、それぞれのコンピュータで正しいプリンタドライバを選択する必要があります。はじめにプリントサーバー機の設定を行い、続いて各クライアント機で設定を行います。

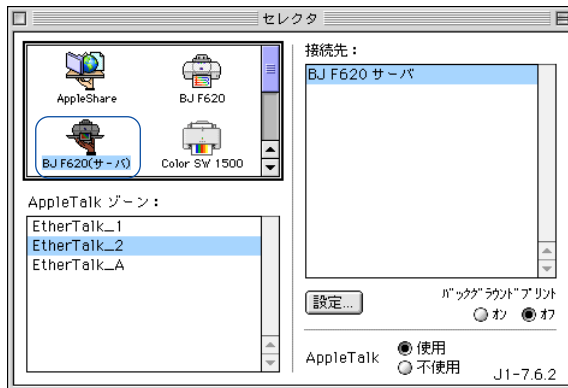
●プリントサーバー機の設定

1 アップルメニューから［セレクタ］を選択します。
2 ［BJ F620］アイコンを選択し、［接続先］でプリンタの名称を選択します。

3 ［共有...］ボタンをクリックします。
4 ［新規プリントサーバ名］が［BJ F620サーバ］になっていることを確認し、［設定］ボタンをクリックします。

5 ［現在設定されているプリントサーバ］に新規プリントサーバー名が追加されたことを確認し、［終了］ボタンをクリックします。
6 クローズボックスをクリックして、セレクタを閉じます。

●クライアント機の設定

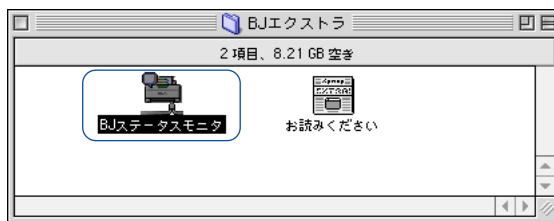
1 アップルメニューから［セレクタ］を選択します。

2 ［BJ F620（サーバ)］アイコンを選択し、［接続先］でプリントサーバー名称を選択します。

3 クローズボックスをクリックして、セレクタを閉じます。

■プリントサーバーの状況を確認する

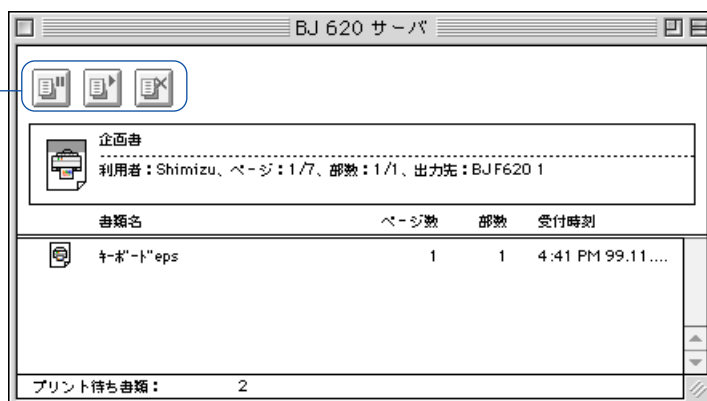
クライアント機でプリントサーバー機の印刷状況を確認したい場合は、BJステータスモニタを起動します。

●BJステータスモニタを起動する

［BJエクストラ］フォルダの［BJステータスモニタ］アイコンをダブルクリックします。

●BJステータスモニタを閉じる

［ファイル］メニューから［終了］を選択するとBJステータスモニタは閉じます。

●BJステータスモニタの機能

BJステータスモニタでは、プリントサーバー機の印刷処理状況を確認できます。
印刷中の書類と、印刷待ちの書類の情報が一覧で表示されます。印刷待ちの書類情報は書類名、ページ数、部数、印刷を受付けた時刻です。最下欄には印刷待ち書類の総数が表示されます。

BJステータスモニタでは次のような作業を行うことができますが、操作しているクライアント機の所有者と対象となる書類の所有者が一致していなければなりません。書類名をダブルクリックすると、所有者を確認できます。

- **印刷を中止する**

  印刷を中止したい書類名をクリックして、アイコンをクリックします。選択した書類が一覧から削除されます。

- **印刷を一時停止/再開する**

  印刷を一時停止したい書類名をクリックして、アイコンをクリックします。印刷を再開するときは、アイコンをクリックします。

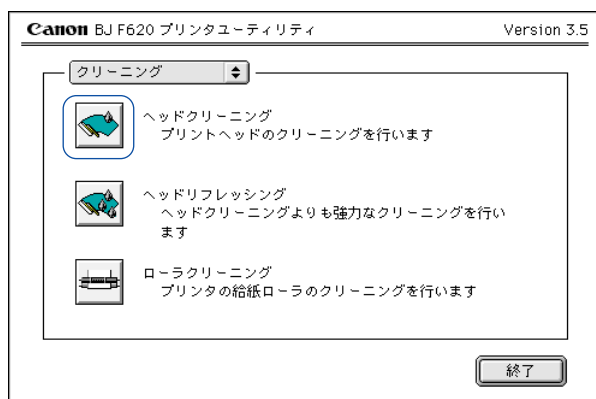
●参考

- コンピュータの所有者については、コントロールパネルの[ファイル共有]を選択し、[所有者の名前]で確認できます。
- プリントサーバー機を複数台使用している場合は、BJステータスモニタの表示を切替えることができます。[ファイル]メニューで[プリントサーバ選択]を選択し、[プリントサーバ]で目的のプリントサーバー機を選択して[OK]ボタンをクリックします。

プリントヘッドをクリーニングする

印刷がかすれたり、特定の色が出なくなったときは、プリントヘッドのノズルが詰まっている可能性があります。クリーニングを行うと、プリントヘッドのノズルの状態が改善します。
2種類のクリーニングがありますので、状況によって使い分けてください。

■通常のクリーニングを実行する

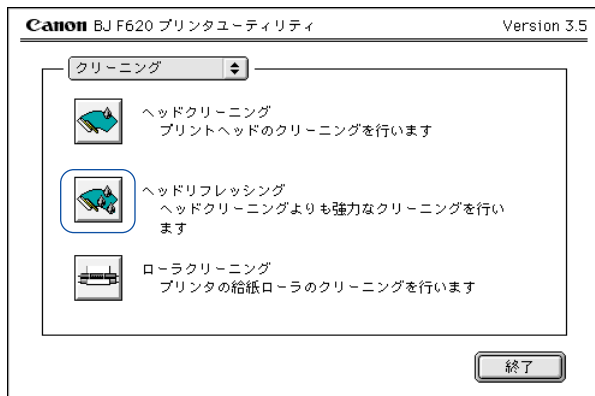
1. ［用紙設定］ダイアログを開きます。
   一般的には、［ファイル］メニューから［用紙設定...］を選択すると開きます。
2. ［ユーティリティ］ボタンをクリックします。
3. ［クリーニング］が選択されているのを確認して、アイコンをクリックします。

4. プリンタの電源が入っていることを確認して、［OK］ボタンをクリックします。
   クリーニングが開始されます。

■ヘッドリフレッシングを実行する

ヘッドリフレッシングはより強力なクリーニングを行います。

1 ［用紙設定］ダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［用紙設定...］を選択すると開きます。

2 ［ユーティリティ］ボタンをクリックします。

3 ［クリーニング］が選択されているのを確認して、アイコンをクリックします。

4 プリンタの電源が入っていることを確認して、［OK］ボタンをクリックします。
ヘッドリフレッシングが開始されます。

●参考

・クリーニング、ヘッドリフレッシングを行うタイミングについては、基本操作ガイドを参照してください。
・プリントヘッドの状態が改善したかどうか確認するには、ノズルチェックパターンの印刷を行ってください。

ノズルチェックパターンを印刷する　P.40

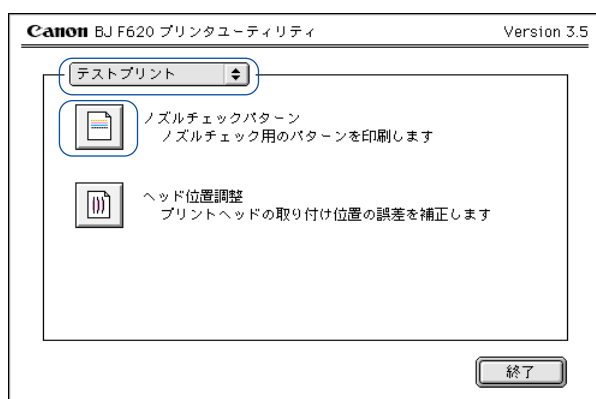
ノズルチェックパターンを印刷する

ノズルチェックパターンは、テストプリントの一種で、プリントヘッドのノズルから正常にインクが出ているかどうかを確認できます。
印刷結果の状態が悪いとき、またはクリーニングの後などに、印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。

■ノズルチェックパターン印刷を実行する

1 [用紙設定] ダイアログを開きます。
一般的には、[ファイル] メニューから [用紙設定...] を選択すると開きます。

2 [ユーティリティ] ボタンをクリックします。

3 [テストプリント] を選択し、アイコンをクリックします。

4 プリンタの電源が入っていることを確認して、[OK] ボタンをクリックします。
ノズルチェックパターンが印刷されます。

●参考

- 印刷されたパターンの見かたは、基本操作ガイドを参照してください。
- クリーニングを繰り返しても、ノズルチェックパターンの状態がよくならない場合は、BJカートリッジのプリントヘッドが消耗している可能性があります。新しいものに交換してください。交換のしかたは基本操作ガイド、リファレンスガイドを参照してください。

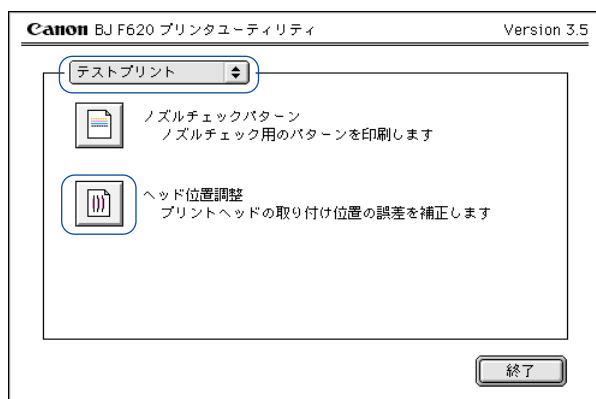
ヘッド位置調整を行う

２つのBJカートリッジのプリントヘッド取り付け位置を調整して、ズレがないきれいな印刷ができるようになります。
ヘッド位置調整には2種類あります。通常は自動ヘッド位置調整を行いますが、何らかの理由でうまく作動しない場合は、手動ヘッド位置調整を行ってください。

■自動ヘッド位置調整を行う

1 ［用紙設定］ダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［用紙設定...］を選択すると開きます。

2 ［ユーティリティ］ボタンをクリックします。

3 ［テストプリント］を選択し、アイコンをクリックします。

4 ヘッド位置調整のメッセージが表示されたら、プリンタの電源が入っていること、普通紙がセットされていることを確認して、［OK］ボタンをクリックします。
調整パターンが印刷されて、２つのBJカートリッジのプリントヘッド位置調整が自動的に行なわれます。

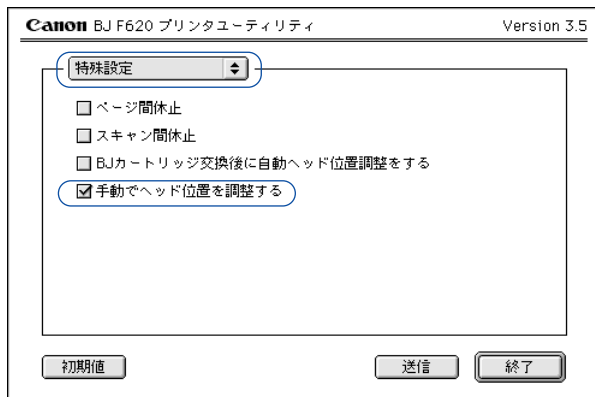
●参考

・次のような場合は、自動ヘッド位置調整がうまく作動しないことがあります。
–インクがなくなっている
–プリントヘッドのノズルが目詰まりしている
–プリンタの排紙口に強い光があたっている

・このような場合は、リファレンスガイドの「困ったときには」の「電源ランプがオレンジ色に点灯（点滅）している」「９回」を参照して、トラブルを解除してください。

■手動ヘッド位置調整を行う

トラブルを解除しても、自動ヘッド位置調整がうまくいかなかったときは、次の手順で手動ヘッド位置調整を行ってください。

1. [用紙設定] ダイアログを開きます。
一般的には、[ファイル] メニューから [用紙設定...] を選択すると開きます。
2. [ユーティリティ] ボタンをクリックします。
3. [特殊設定] を選択して、[手動でヘッド位置を調整する] をオン（☑）にします。

4. [送信] ボタンをクリックします。
5. 確認のメッセージが表示されたら、プリンタの電源が入っていることを確認して、[OK] ボタンをクリックします。
6. [テストプリント] を選択し、をクリックします。
7. メッセージが表示されたら、プリンタの電源が入っていること、普通紙が1枚セットされていることを確認して、[OK] ボタンをクリックします。
基本解像度の調整パターンの印刷を開始します。
8. 印刷されたパターンの中で、最もずれていないパターンの数値を（Y)、(X1）～（X6)、(B1)、(B2）に入力し、[設定] ボタンをクリックします。
9. メッセージが表示されたら、普通紙が1枚セットされていることを確認して、[OK] ボタンをクリックします。
高解像度の調整パターンの印刷を開始します。
10. 印刷されたパターンの中で、最もずれていないパターンの数値を（Y)、(X1）～（X6)、(B1)、(B2）に入力し、[設定] ボタンをクリックします。

以上で、２つのBJカートリッジのプリントヘッド位置が調整されます。

●参考

・手動から自動に戻す場合は、同じ手順で [特殊設定] を選択し、[手動でヘッド位置を調整する] をオフ（□）にして [送信] ボタンをクリックしてください。

給紙ローラのクリーニングを行う

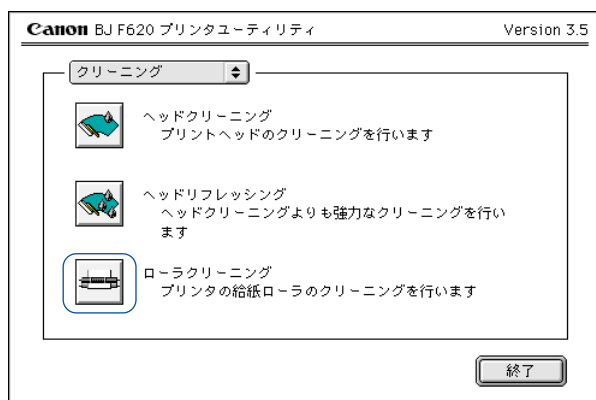
高品位用紙など、表面に特殊加工がされている用紙を大量に使用すると、給紙ローラに紙粉が付着し、用紙が正しく給紙されなくなることがあります。専用のクリーニングシートを使って給紙ローラをクリーニングすると改善します。ここでは、給紙ローラのクリーニングを実行する操作についてのみ説明します。

■給紙ローラのクリーニングを実行する

クリーニングシートをプリンタにセットする方法は、リファレンスガイドを参照してください。

1 [用紙設定] ダイアログを開きます。
一般的には、[ファイル] メニューから [用紙設定...] を選択すると開きます。

2 [ユーティリティ] ボタンをクリックします。

3 [クリーニング] が選択されていることを確認して、アイコンをクリックします。

4 確認のメッセージが表示されたら、プリンタの電源が入っていること、クリーニングシートがセットされていることを確認して、[OK] ボタンをクリックします。
給紙ローラのクリーニングが開始します。

●参考

・クリーニングシートについての詳細は、リファレンスガイドの「プリンタの調整とお手入れ」、「給紙ローラのクリーニング」を参照してください。

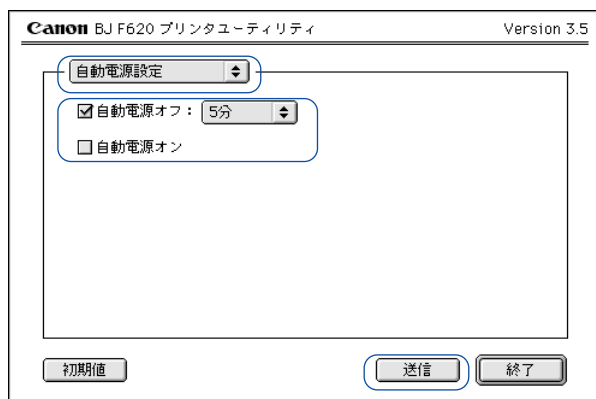
プリンタの電源を自動的にオン/オフする

自動電源設定を行うと、一定時間データが送られてこないと自動的に電源を切ったり、データが送られてくると自動的に電源が入ったりするように、プリンタを設定することができます。

■自動電源オン/オフの設定をする

1 ［用紙設定］ダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［用紙設定...］を選択すると開きます。

2 ［ユーティリティ］ボタンをクリックします。

3 ［自動電源設定］を選択し、必要な設定を行ったのち、［送信］ボタンをクリックします。

［自動電源オン］…チェックボックスをオン（☑）にすると、データが送られてくると自動的にプリンタの電源が入るようになります。

［自動電源オフ］…チェックボックスをオン（☑）にして、特定の時間を選択すると、その時間内にデータが送られてこない場合は、自動的にプリンタの電源を切るようになります。

4 確認のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。
以上で自動電源オン/オフの設定は完了します。

●参考

・自動電源オン/オフの設定を解除したい場合は、同じ手順でそれぞれのチェックボックスをオフ（□）を選択してください。

特殊な設定を行う

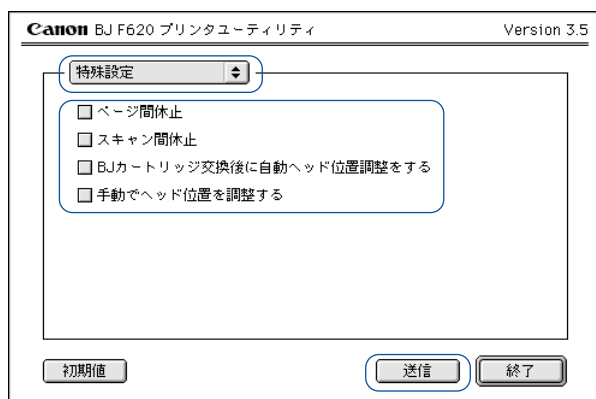
［プリンタユーティリティ］ダイアログの特殊設定機能は、プリンタに設定されているモードを変更して、プリンタの動作のしかたを変更します。
また、［セレクタ］では処理解像度の変更ができます。

■プリンタの各種モードを変更する

印刷面の乾きを待つために、休止時間をとるようにしたり、プリントヘッドの位置調整の方法を変更したりできます。

1 ［用紙設定］ダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［用紙設定...］を選択すると開きます。

2 ［ユーティリティ］ボタンをクリックします。

3 ［特殊設定］を選択し、必要に応じてチェックボックスをクリックして設定変更を行い、［送信］ボタンをクリックします。

［ページ間休止］
高濃度の印刷を行ったあと、次ページの印刷開始まで休止時間をとります。印刷面が完全に乾かないうちに次ページが排紙され、用紙が汚れてしまうような場合は、オン（☑）にしてください。

［スキャン間休止］
印刷中にプリントヘッドを休止させる時間をとります。印刷面が乾きにくい場合は、オン（☑）にしてください。

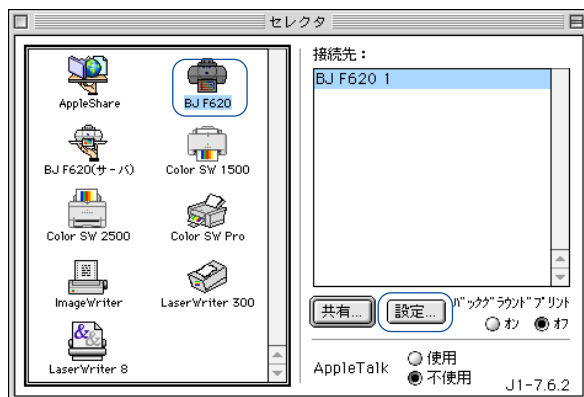
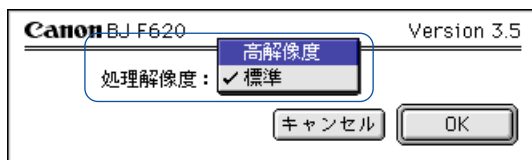
［BJカートリッジ交換後に自動ヘッド位置調整をする］
BJカートリッジを交換したら、自動的にプリントヘッドの位置調整を行うようにした場合は、オン（☑）にしてください。

［手動でヘッド位置を調整する］
手動でヘッド位置調整の設定を行う場合は、オン（☑）にしてください（手動ヘッド位置調整を行う　P.42）。

4　確認のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。
以上でプリンタの各種モード変更は完了します。

■データの処理解像度を変更する

データの処理解像度は通常は標準に設定されています。処理解像度は高解像度に変更することができます。

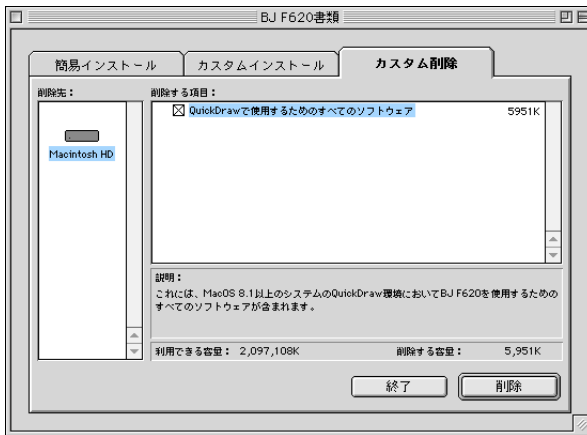
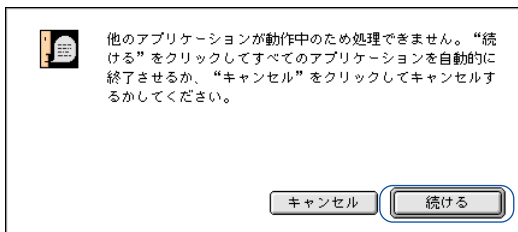
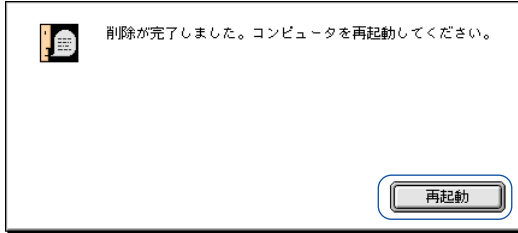
1　アップルメニューから [セレクタ] を選択します。
2　使用しているプリンタドライバ ([BJ F620] アイコン) を選択します。
3　[設定] ボタンをクリックします。

4　[処理解像度] で [高解像度] を選択します。

5　[OK] ボタンをクリックします。
6　クローズボックスをクリックして [セレクタ] を閉じます。

不要になったプリンタドライバを削除する

プリンタドライバが不要になったときは、カスタム削除で、プリンタドライバ関連のソフトウェアをまとめて削除することができます。
また、使用している環境に不要なソフトウェアだけを選んで削除することもできます。

■プリンタドライバを削除する

インストーラを起動して、［BJ F620書類］を開き、カスタム削除を実行します。

1 動作中のアプリケーションソフトで、保存していない書類がある場合は、あらかじめ保存しておいてください。
2 ［CANON_BJ］フォルダを開き、［プリンタドライバ］フォルダを開きます。
3 ［BJインストーラ］アイコンをダブルクリックします。
4 使用許諾契約書が表示されたら、［同意する］ボタンをクリックします。
5 ［BJ F620］を選択します。
［BJ F620書類］が開きます。
6 ［カスタム削除］をクリックします。
7 ［削除する項目］のチェックボックスをクリックしてオン（ ☒ ）にします。

8 ［削除］ボタンをクリックします。
9 次のようなメッセージが表示された場合は、［続ける］ボタンをクリックします。

10 次のようなメッセージが表示されたら、［再起動］ボタンをクリックします。
コンピュータが再起動します。

以上でプリンタドライバの削除は完了です。

インストールされるプリンタドライバ関連ファイル

BJ F620用プリンタドライバをインストールすると、それぞれの場所に次のフォルダおよびファイルがインストールされます。

＊　Mac OS9の場合は、ColorSyncプロファイルとなります。
＊＊ ColorSync特性にインストールされるプロファイルの例

スキャナドライバ編

スキャナドライバIS Scan**は**BJ F620**にカラーイメージスキャナカートリッジ**IS-32**を装着して、画像を取り込むときに必要なソフトウェアです。**
スキャナドライバが正しくインストールされると、コンピュータは接続したプリンタをスキャナ装置として認識できるようになります。読み取り時には、紙の原稿をコンピュータに理解できるデータ形式に変換し、コンピュータに取り込む働きをします。
IS Scan**は、単にスキャナドライバとしての機能だけではなく、読み取った画像を編集、保存する機能を持っています。画像編集ができるアプリケーションソフトから起動することも、単独のアプリケーションとして起動することも可能です。**
コピーユーティリティはこのIS Scan**の機能を利用して、画像の読み取りから印刷を一貫して行うアプリケーションソフトです。**
「スキャナドライバ編」では、IS Scan**とコピーユーティリティの機能について説明します。**

お願い：
- スキャナで読み取った書類、楽譜、絵画、版画、地図、図面、および写真などの著作物は、個人として使用する以外は著作権法により著作者に無断で使用できません。
- また、以下のものはスキャナで読み取るだけで、法律により罰せられます。
  紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券、外国において流通する紙幣、貨幣、証券類、未使用の郵便切手、官製はがき類、政府発行の印紙、酒税法で規定の証券類、民間発行の有価証券、定期券、回数券など

スキャナドライバの機能

本書ではIS Scanの機能説明を「スキャナドライバ」、コピーユーティリティの機能説明を「スキャナ用アプリケーションソフト」と分類しています。各ページ右上に記載していますので、目的に合わせて必要な説明を参照してください。

IS Scanの機能……………………………→「スキャナドライバ」 P.52〜P.65

IS ScanはTWAIN対応のスキャナドライバという役割と、画像読み取りアプリケーションソフトという役割を持っているため、インストール後は、次の2種類の方法で起動できます。

- TWAIN対応の画像編集アプリケーションソフトから起動。
- IS Scanを単独で起動。

いずれの方法で起動しても画像の読み取り方法は基本的に同じです。各起動方法、読み取りの設定のしかたなど、IS Scanの機能は「スキャナドライバ」にまとめています。

コピーユーティリティ……→「スキャナ用アプリケーションソフト」 P.66〜P.68

コピーユーティリティはIS Scanの画像読み取り機能を利用して、コピーのような手軽さで、画像の読み取りから印刷までを一貫して行うことができます。

コピーユーティリティの機能は「スキャナ用アプリケーションソフト」にまとめています。

●参考

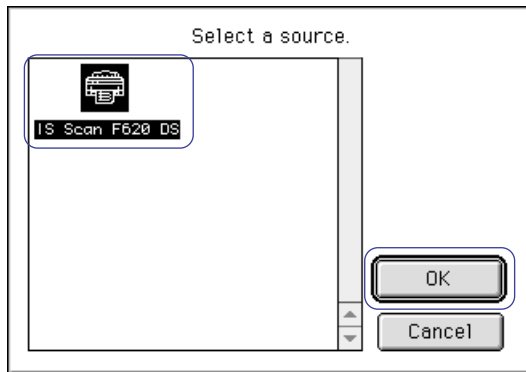
- IS Scan、コピーユーティリティをお使いの場合は、プリンタにカラーイメージスキャナカートリッジIS-32（以下、本書ではスキャナカートリッジと略します）を装着しておく必要があります。また、原稿をスキャニングホルダにセットするなど、プリンタ側での作業を伴います。
これらの詳細については「基本操作ガイド」、「リファレンスガイド」を参照してください。

アプリケーションソフトで画像を読み取る

TWAIN対応の画像編集アプリケーションソフトから、IS Scanを起動して画像を読み取る手順を説明します。実際の操作では、スキャナカートリッジの取り付けや、原稿のセットなどの作業が伴います。これらの詳細については、基本操作ガイドとリファレンスガイドを参照してください。

■TWAIN対応機器の選択を行う

アプリケーションソフトで画像を読み取る前に、BJ F620を使用するTWAIN対応入力機器として選択する必要があります。操作のしかたはアプリケーションソフトによって違いますが、ここでは一般的な手順を説明します。

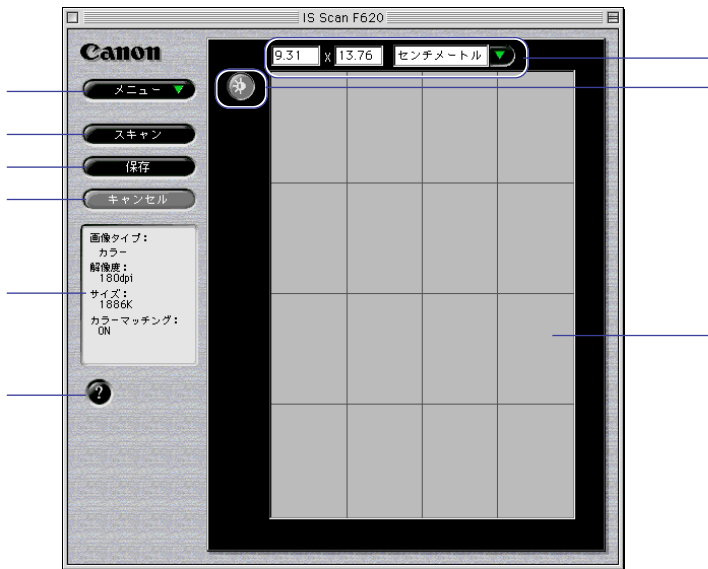
1 アプリケーションソフトを起動し、[ファイル] メニューから [新規...] を選択します。プリンタにスキャナカートリッジを取り付けます。
2 TWAIN対応の入力機器を選択するダイアログを表示します。
一般的には[ファイル]メニューから [読み込み]、[TWAIN対応機器の選択...]を選択します。[Select a source] ダイアログが表示されます。
3 [IS Scan F620DS] アイコンをクリックし、[OK] ボタンをクリックします。

以上で、BJ F620が入力機器として選択されました。この操作は、はじめに1回行っておけばいい操作です。他の機器に変更しない限り設定は有効です。

■IS Scanを起動する

IS Scanを起動して、画像の読み取りを行うダイアログを表示します。操作のしかたはアプリケーションソフトによって違いますが、ここでは一般的な手順を説明します。

1 プリンタにスキャナカートリッジを取り付けます。
2 アプリケーションソフトで画像読み取りを行うメニューを選択します。
一般的には[ファイル]メニューから [読み込み] を選択し、[TWAIN対応機器からの入力...]を選択します。IS Scanのメインダイアログを表示します。

■メインダイアログの各部の名称と役割

IS Scanのメインダイアログは、読み取った画像を表示するプレビュー領域と各種の操作を行うボタンがあります。各部の名称と役割を簡単に紹介します。

①［メニュー］ボタン

IS Scanの各種機能が選択できます。読み取る画像の設定を変えたり、読み取った画像を編集するときにクリックします。

②［スキャン（プレスキャン、クリア)］ボタン

読み取りを実行するときにクリックします。

設定や状況によって、このボタンの表示は、［プレスキャン]、［クリア］に変わります。

③［転送（保存)］ボタン

読み取った画像をアプリケーションソフトに転送するときクリックします。

IS Scanを単独で起動した場合は、このボタンの表示は［保存］です。

④［キャンセル］ボタン

画像の読み取りをキャンセルして終了します。

⑤イメージ情報表示部

画像を読み取るための設定内容を表示します。別の設定で読み取りたい場合は、［メニュー］ボタンをクリックして、［設定...］を選択します。

⑥ヘルプボタン

IS Scanの機能についての説明を見たいときにクリックします。

⑦輝度/コントラストボタン

画像の明るさを調整したいときにクリックします。

⑧出力サイズ

読み取る画像の大きさを表示します。単位はインチ、mm、ピクセルから選択できます。

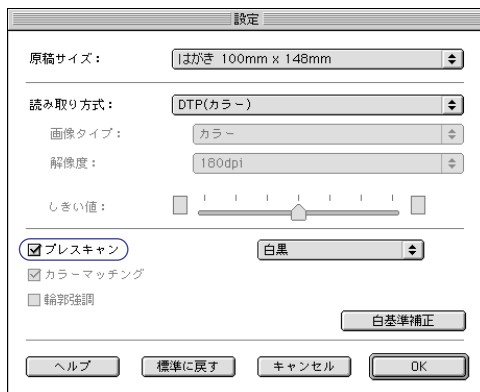
⑨プレビュー領域

読み取った画像が表示されます。

■画像を読み取る

画像を読み取るために、最低限必要な操作を説明します。

1 ［メニュー］ボタンをクリックして、［設定...］を選択します。
設定ダイアログが開きます。

2 読み取る原稿に合わせて、必要な設定を行います。
①［原稿サイズ］の をクリックして、読み取る原稿の大きさに近いサイズを選択します。
②［読み取り方式］で原稿に最も近い項目を選択します。各項目の意味は「画像の読み取り方法を変更する P.59」を参照してください。
③［プレスキャン］のチェックボックスをクリックしてオン（ ）にします。
プレスキャンとは、本番の読み取りの前に行う簡易的な読み取り方法です。本番スキャンの際原稿の範囲を指定して読み取ることができます。必要がない場合はオフでもかまいません。

3 ［OK］ボタンをクリックして、［設定］ダイアログを閉じます。

4 プリンタに原稿がセットされていることを確認して、［プレスキャン］ボタンをクリックします。

5 原稿の一部分だけが必要な場合は、プレビュー領域内でマウスをドラッグして範囲を指定します。選択ボックスで囲まれた部分が読み取り範囲となります。

●参考

・選択ボックスを作成するには、範囲となる長方形の１点にマウスポインタを移動し、マウスのボタンを押したまま対角点まで移動し、マウスのボタンを離します。
・選択ボックス内にマウスポインタを置いて、ドラッグすると位置を移動できます。また選択ボックスの線上にマウスポインタを合わせてドラッグすると大きさを変更できます。
・選択ボックスの最小範囲は縦25.4mm、横25.4mmです。
・選択された範囲の大きさは、［出力サイズ］（P.53）に表示されます。

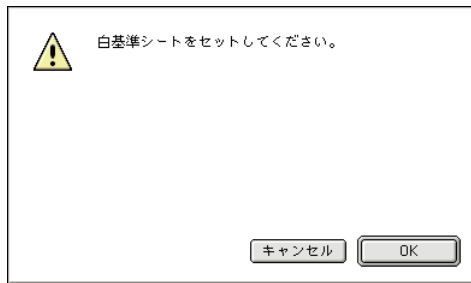
6 原稿がセットされていることを確認して、［スキャン］ボタンをクリックします。
選択ボックスで指定した範囲だけが、読み取られます。

●参考

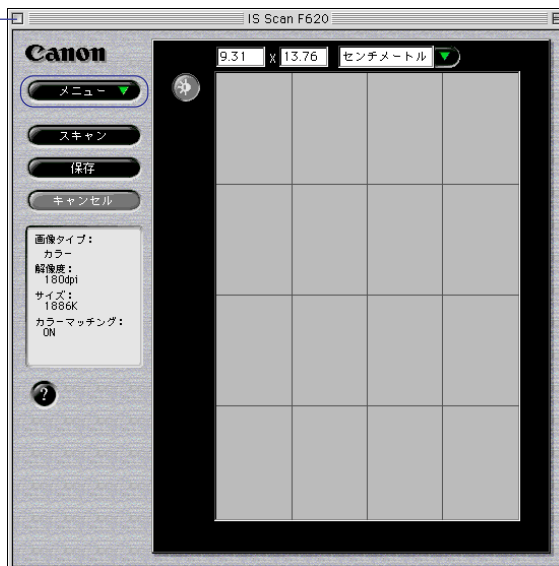
・プレビュー領域に表示された画像の一部が切れていたり、斜めになっていた場合は、［クリア］ボタンをクリックしてください。原稿をスキャニングホルダにセットし直し、再度［プレスキャン］ボタンをクリックして範囲を指定し、［スキャン］ボタンをクリックしてください。

7 ［転送］ボタンをクリックします。
アプリケーションソフトに読み取った画像データが転送されます。
必要に応じてアプリケーションソフトで画像データを編集し、印刷や保存を行ってください。

●参考

・アプリケーションソフトによっては、IS Scanのメインダイアログボックスが表示されず、独自の読み取り設定画面が表示されることがあります。この場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、読み取りの操作を行ってください。
・IS Scanを起動中に、IS Scanを呼び出したアプリケーションソフトを終了しないでください。システムからの応答がなくなることがあります。
・［プレスキャン］ボタンや［スキャン］ボタンをクリックしたとき、次のようなメッセージが表示されることがあります。

この場合は、白基準シートをセットして、[OK]ボタンをクリックしてください。白基準補正が行われます（白基準補正を行う　P.65）。

■読み取りを中止してIS Scanを終了する

設定や読み取りを中止して、メインダイアログボックスを閉じたい場合は、クローズボックスをクリックしてください。また、[メニュー]ボタンをクリックし、[終了]をクリックしても同様のことが可能です。

単独でIS Scanを起動する

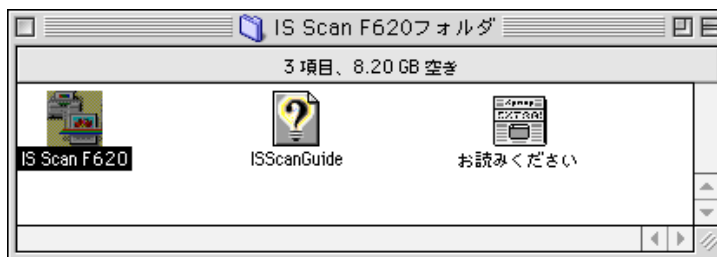
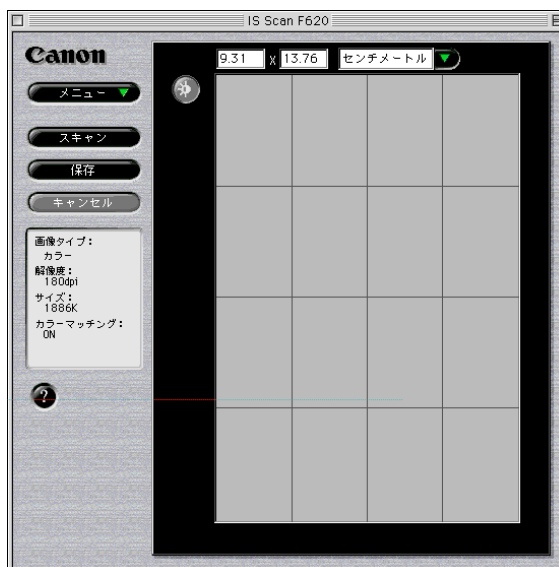
TWAIN対応の画像編集アプリケーションソフトをお持ちでない場合は、IS Scanを単独で起動して画像を読み取ってください。この場合は、読み取った画像データもIS Scanで保存できます。それ以外の機能はアプリケーションソフトから起動した場合と同じです。

■IS Scanを起動する

単独でIS Scanを起動する手順を説明します。

1 プリンタの電源を入れ、スキャナカートリッジを取り付けます。

2 [IS Scan F620] フォルダをダブルクリックします。

3 [IS Scan BJ F620] アイコンをダブルクリックします。

IS Scanが起動し、メインダイアログが表示されます。

メインダイアログの内容と画像の読み取りかたは、アプリケーションソフトから起動した

場合と、ほとんど同じです。

メインダイアログの各部の名称と役割　P.53

画像を読み取る　P.54

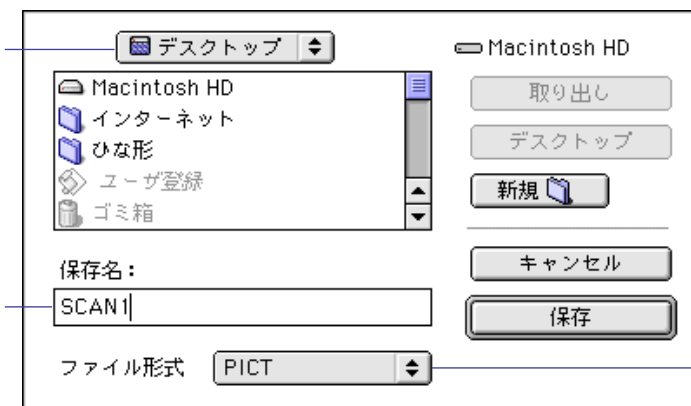
●参考

・スキャナカートリッジの取り付けかたは「リファレンスガイド」の「スキャナカートリッジに交換する」を参照してください。

■読み取った画像を保存する

単独でIS Scanを起動した場合は、読み取った画像データを保存できます。

1　［保存］ボタンをクリックします。

2　必要な設定を行い、［保存］ボタンをクリックします。
①保存する場所を選択します。
②［保存名］に画像データの名称を入力します。
③［ファイル形式］をPICT、TIFFから選択します。

以上で、画像データはファイルに保存されます。

画像の読み取り方法を変更する

読み取る画像の色、解像度などの設定は、原稿に合った［読み取り方式］を選択することで、自動的にお勧めの設定になります。
好みに合わせた設定を行いたい場合は、［ユーザ設定］を選択します。

■既存の設定で読み取る

［設定］ダイアログの［読み取り方式］で、プリンタにセットした原稿に近いものを選択します。
それぞれの項目の設定内容については、次の表を参照してください。

項目	用　　途	[読み取り方式] [解像度]	[輪郭強調] [カラーマッチング]	プレスキャン
写　真	スナップ写真のような紙焼きの写真を読み取るときにお勧めの設定です。	カラー 360dpi	オフ オン（行う）	グレースケール
DTP （カラー）	カラーの原稿を読み取るときの標準的な設定です。	カラー 180dpi	オフ オン（行う）	グレースケール
DTP （モノクロ）	モノクロの原稿を読み取るときの標準的な設定です。	グレースケール 180dpi	オフ オフ	グレースケール
テキスト	ワープロ文書のように文字だけの原稿を読み取るときに、お勧めの設定です。	白黒 180dpi	オン（行う） オフ	白黒
FAX	モノクロの原稿をFAX送信に適したデータに変換して読み取ります。	白黒（文字強調） 200dpi	オフ オフ	白黒
OCR	モノクロの原稿をOCR入力に適したデータに変換して読み取ります。	白黒（文字強調） 360dpi	オフ オフ	白黒
ユーザ設定	自分で好みの設定を行いたいときに選択します。 ➡好みの設定で読み取る　P.60	ー	ー	ー

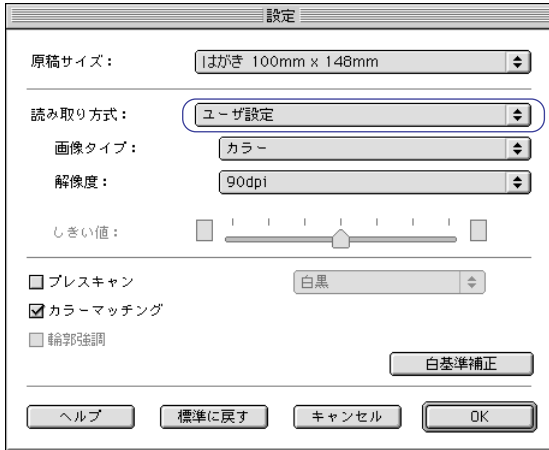
●参考

- ［設定］ダイアログは、メインダイアログで［メニュー］ボタンをクリックし、［設定...］を選択すると表示されます。
- ［FAX］と［OCR］は、原稿をグレースケールで読み取ったあと、モノクロのデータに変換します。その結果、不要な背景などが削除され、テキストや線画の画質を高めることができます。一方［テキスト］は、はじめから原稿をモノクロで読み取ります。

■好みの設定で読み取る

［設定］ダイアログの［読み取り方式］で［ユーザ設定］を選択すると、好みに合わせた詳細な設定を行うことができます。

1 メインダイアログで［メニュー］ボタンをクリックし、［設定...］を選択します。

2 ［読み取り方式］で［ユーザ設定］を選択します。

3 読み取る原稿に合わせて、必要な設定を行います。

［画像タイプ］

原稿に合わせてカラー、グレースケール、白黒、白黒（文字強調）から選択します。

［解像度］

読み取る画像の解像度を選択します。解像度が高いほど、精密で高精細な画像になりますが、画像データは大きくなります。一般的にホームページなどのように画面で見ることを目的としている場合は90dpi、プリンタで印刷することを目的としている場合は180dpiで十分です。

［しきい値］

［画像タイプ］が［白黒］の場合にのみ有効な機能です。

スライドバーをドラッグして、白黒の画像の濃淡を調整します。左にいくほど淡く（明るく）、右にいくほど濃く（暗く）、画像を読み取ります。

［プレスキャン］

プレスキャンを行うときはオン（☑）にします。読み取り方式は、白黒、グレースケール、カラーから選択します。

［カラーマッチング］

［画像タイプ］が［カラー］の場合だけ有効な機能です。

オンにすると、使用しているモニタの色特性に合うように、色を調整して読み取りを行います。参照するモニタの色特性は、アップルメニューのコントロールパネル内にあるColorSyncのシステム特性で設定された内容です。

［輪郭強調］

［画像タイプ］が［白黒］の場合だけ有効な機能です。オンにすると、画像の輪郭部分だけをシャープに際立たせて読み取りを行います。プレスキャン時は無効になります。

4 ［OK］ボタンをクリックします。

メインダイアログに戻ります。

5 原稿がセットされていることを確認して、［プレスキャン］または［スキャン］ボタンをクリックして、読み取りを行います。

読み取った画像をクリップボードにコピーする

読み取った画像をクリップボードにコピーすると、他のアプリケーションソフトでも手軽に画像を利用することができます。TWAINに対応していないアプリケーションソフトで作成した書類に、画像を貼り付けたい場合などに有効です。

■画像をコピーする

コピーの対象となるのは、プレビュー領域に表示されている画像です。

1 メインダイアログで［メニュー］ボタンをクリックし、[編集]、[コピー］を選択します。
画像データがクリップボードにコピーされます。

●参考

・クリップボードにコピーされた画像を使用するには、アプリケーションソフトを開いて［編集］メニューから［ペースト］を選択してください。

画像を調整する

読み取った画像が、思い通りでなかった場合は、さまざまな機能を使って、微調整することができます。画像の明るさを変えたり、よりシャープあるいはソフトに見えるように、画像データを加工します。
また、特殊効果を加えて、オリジナルとは異なる風合いの画像データに加工できます。

■明るさとコントラストを調整する

読み取った画像の明るさとコントラストをスライドバーで調整します。

1 メインダイアログで ボタンをクリックします。
［輝度/コントラスト］ダイアログが表示されます。

2 それぞれのスライドバーを左右にドラッグして調整します。
①［輝度］は、左にいくほど画像全体が暗くなり、右にいくほど画像全体が明るくなります。
②［コントラスト］は、左にいくほど画像全体のコントラストが弱くなり、右にいくほど画像全体のコントラストが強くなります。

3 調整後に［更新］ボタンをクリックすると、プレビュー領域に表示されている画像の輝度、コントラストが変わります。

4 調整が終了したら、［OK］ボタンをクリックします。

■画像の印象を修正する

読み取った画像をよりシャープにまたはソフトに調整することができます。また、汚れのように見える部分をめだたなくする（デスペクル）、ネガフィルムのように色を反転する機能もあります。

1 メインダイアログで［メニュー］ボタンをクリックし、［画像］を選択し、サブメニューから目的の機能を選択します。

［シャープ］……… かすみがかったような画像をシャープに表現します。
［ソフト］………… 画像のエッジ部分を柔らかく表現します。
［デスペクル］…… 汚れのように見える部分を、周辺の色になじませて目立たなくします。
［色の反転］……… ネガフィルムのような画像にします。

修正の効果はプレビュー領域で確認します。

■画像に特殊効果を加える

読み取った画像にエッジ強調、ライン強調、ピクセル、ポスタライズ、ローレリーフといった特殊効果を加え、オリジナルの画像とは異なる表現に加工できます。

1 メインダイアログで［メニュー］ボタンをクリックし、［エンハンス］を選択し、サブメニューから目的の機能を選択します。

［エッジ...］……… 写真や線画のエッジを強調します。
［ライン...］……… 特定の方向のラインだけ強調します。
［ピクセル］……… モザイクのような表現に加工します。
［ポスタライズ］… 色数を減らして、画像を単純化します。
［ローレリーフ］… 浮き彫りのような表現に加工します。

機能を選択すると、それぞれのダイアログが表示されます。

2 一覧から好みの機能を選択します。

画面は［エッジ...］を選択したときの例ですが、他の機能の場合も操作は同じです。選択した機能のおおよその結果は、プレビュー領域で確認できます。
それぞれの機能の詳細は ? ボタンをクリックして、説明を参照してください。

3 調整が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。

●参考

・調整した結果を元に戻したい場合は、[メニュー] ボタンをクリックして [元にもどす] を選択し、次のいずれかを選択します。

[最後] ……２回以上の編集を行った場合は、直前に選択した機能のみ解除します。

[すべて] …すべての機能を解除してオリジナルの画像に戻します。

IS Scanのその他の機能

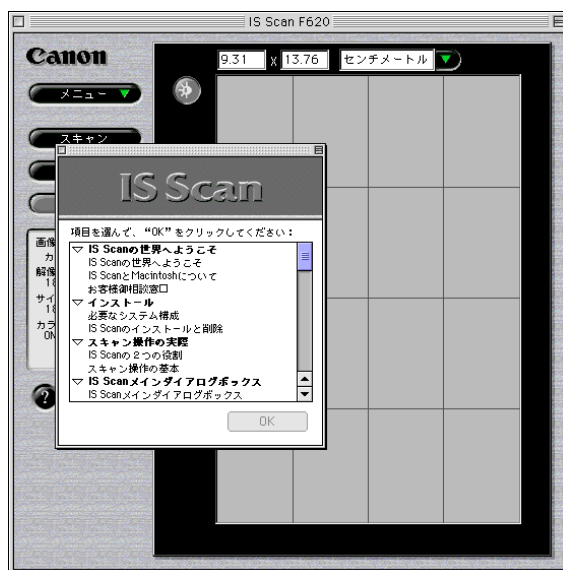
画像の読み取り以外の機能について、まとめて説明します。

■白基準補正を行う

読み取る画像の色味を正しいカラーバランスにするためには、白基準補正という操作が必要です。はじめて画像の読み取りを行う場合や、スキャナカートリッジの温度が上昇したときには、プリンタに白基準シートをセットするようにメッセージが表示されます。
白基準シートをプリンタにセットし、メッセージの［OK］ボタンをクリックすると読み取りが開始され、白基準補正の値が設定されます。
この操作は必要に応じて、いつでも行うことができます。

1. メインダイアログで［メニュー］ボタンをクリックし、［設定...］を選択し、設定ダイアログ上の［白基準補正］ボタンを選択します。
2. ［白基準補正］ボタンをクリックします。
3. メッセージが表示されたら、白基準シートをプリンタにセットします。セットのしかたは「基本操作ガイド」を参照してください。
4. ［OK］ボタンをクリックします。
   白基準シートが排紙されたら、補正は完了です。

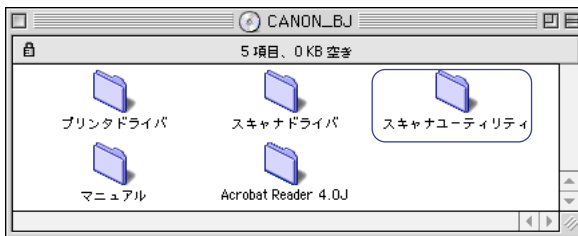
■ヘルプを見る

メインダイアログ上にある ? をクリックすると、IS Scanの各機能の説明を見ることができます。また、［メニュー］ボタンをクリックし、［ヘルプ］、［ヘルプ］を順に選択しても同じです。

コピーユーティリティを使用する

コピーユーティリティはIS Scanの機能で読み取った画像をすぐに印刷したいときに便利なアプリケーションソフトです。
読み取った画像に編集を加えたり、画像を保存することはできませんが、読み取りから印刷まで簡単に行うことができます。

■コピーユーティリティをインストールする

コピーユーティリティは必要なファイルが入っているフォルダを任意の場所にコピーするだけで使用できるようになります。

1 [プリンタダライバ／リファレンスガイド］のCD-ROMをセットします。
2 [スキャナユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。

3 [Copy Utility for F620］フォルダをドラッグして、任意の場所にコピーします。

以上でコピーユーティリティはいつでも起動できるようになります。

●参考

・コピーユーティリティを使用するには、プリンタドライバとスキャナドライバIS Scanが正しくインストールされている必要があります。

■コピーユーティリティを起動する

コピーユーティリティを起動する手順を説明します。

1 プリンタの電源を入れ、スキャナカートリッジを取り付けます。

2 ［コピーユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。

3 ［Copy Utility］アイコンをダブルクリックします。

コピーユーティリティが起動し、メインダイアログが表示されます。

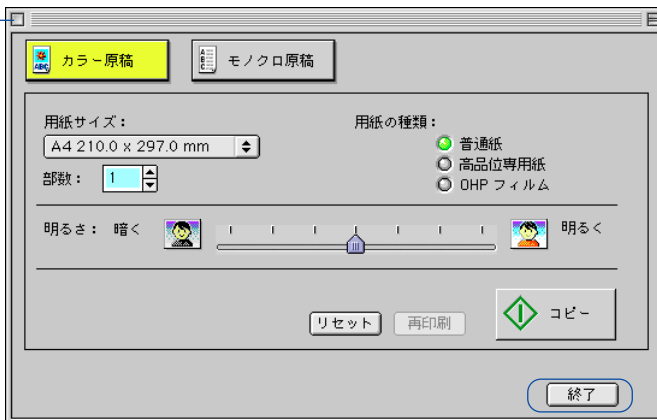
■原稿をコピーする

1. 原稿に合わせて［カラー原稿］ボタンか、［モノクロ原稿］ボタンをクリックします。
2. 印刷に使用する用紙のサイズを［用紙サイズ］で選択します。
3. 印刷する部数を［部数］で選択します。
4. 印刷に使用する用紙の種類を、［普通紙］、［高品位専用紙］、［OHP］の中から選択します。
5. ［明るさ］のスライドバーを左右にドラッグして、コピーの明暗を選択します。
6. 原稿がセットされていることを確認して、［コピー］ボタンをクリックします。
   原稿の読み取りを開始します。
7. メッセージが表示されたら、スキャナカートリッジを取りはずし、印刷設定に合ったBJカートリッジに交換します。
8. 用紙をセットして、メッセージの［OK］ボタンをクリックします。
   印刷を開始します。

●参考

・コピー終了後に同じ画像を印刷したい場合は、［再印刷］ボタンをクリックします。
・同じ設定で別の原稿をコピーしたい場合は、［コピー］ボタンをクリックします。確認のメッセージが表示されたら［はい］ボタンをクリックして、同様の手順でコピーします。
・異なる設定でコピーしたい場合は、［クリア］ボタンをクリックします。画像データが解除されますので、同様の手順で設定を行ってコピーします。

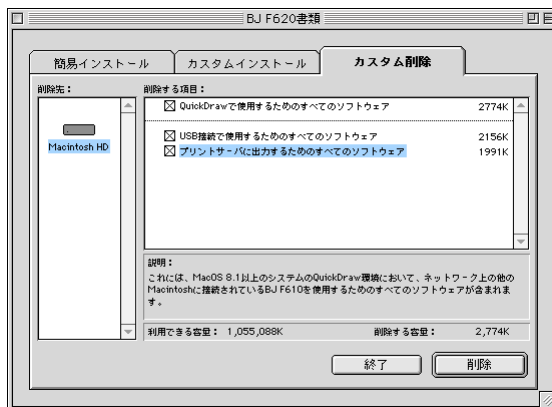
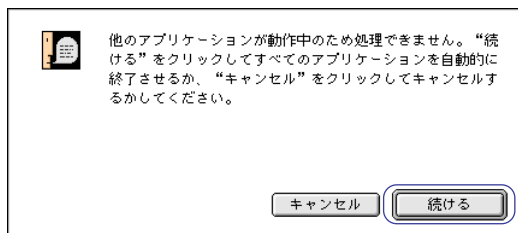
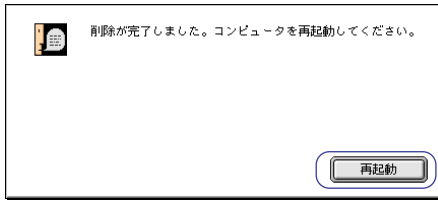
■コピーユーティリティを終了する

クローズボックス、または［終了］ボタンをクリックすると、コピーユーティリティは終了します。

不要になったスキャナドライバを削除する

IS Scanが不要になったときは、カスタム削除で関連のファイルをまとめて削除することができます。
コピーユーティリティが不要になった場合は、ファイルを［ごみ箱］に捨ててください。

■ スキャナドライバを削除する

インストーラを起動して、［IS Scan書類］を開き、カスタム削除を実行します。

1 動作中のアプリケーションソフトで、保存していない書類がある場合は、あらかじめ保存しておいてください。
2 ［F620_01］フォルダを開き、［スキャナドライバ］フォルダを開きます。
3 ［インストーラ］アイコンをダブルクリックします。
4 使用許諾契約書が表示されたら、［同意する］ボタンをクリックします。
5 ［カスタム削除］をクリックします。
6 削除したい内容のチェックボックスをクリックしてオン（☑）にします。
クリックすると下段に説明が表示されますので、参考にしてください。

7 ［削除］ボタンをクリックします。
8 次のようなメッセージが表示された場合は、［続ける］ボタンをクリックします。

9 次のようなメッセージが表示されたら、[再起動]ボタンをクリックします。
コンピュータが再起動します。

以上でスキャナドライバIS Scanの削除は完了です。

■ コピーユーティリティを削除する

[Copy Utility for F620]フォルダを[ごみ箱]にドラッグするだけで削除できます。

インストールされるスキャナドライバ関連ファイル

BJ F620用IS Scanをインストールすると、それぞれの場所に次のフォルダおよびファイルがインストールされます。

システムフォルダ	初期設定	TWAIN	IS Scan F620 DS Source Manager
		IS Scan	ISScan Help
	機能拡張	F620 USB Module	
	ColorSync 特性 *	BSIS32.PRF	BJ Standard 2
IS Scan 場所は任意に指定できます。	IS Scan F620	SScanGuide	お読みください

*Mac OS 9の場合は、Color Syncプロファイルになります。

コピーユーティリティは特にインストール作業を必要としません。次のフォルダとファイルを任意の場所にコピーします。

Copy Utility for F620 場所は任意に指定できます。	Copy Utility	Copy Utility Guide